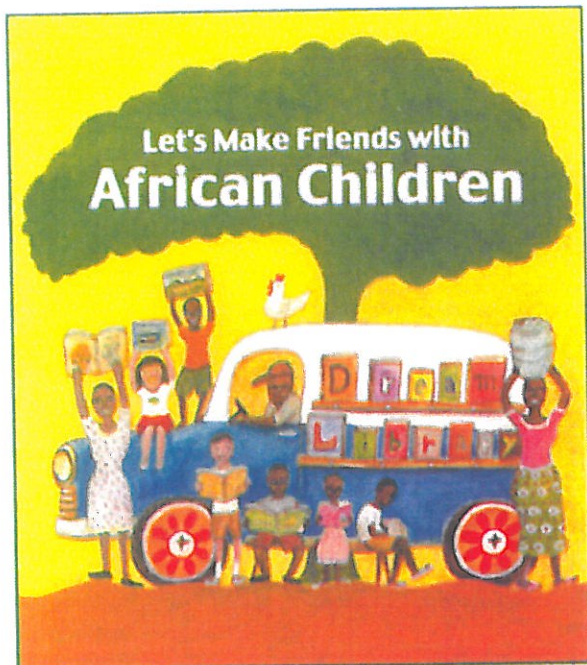


アフリカを読む、知る、楽しむ

★アフリカをテーマにした絵本・児童書100冊、パネルなどを展示★

子どもの本展



絵：沢田 としき

平成22年
12月3日(金)～5日(日)

10:00～17:00

(5日は16:00まで)

入場無料

秋穂地域交流センター
大会議室

主催： 山口県 / おはなし玉手箱

共催： 山口市立秋穂図書館

図書館と友だちの会・秋穂

協力： アフリカ子どもの本プロジェクト

後援： 山口市秋穂地域交流センター

たのSEA 秋穂づくり協議会

ぶどうの木-山口市子どもと読書ネットワーク

<ご紹介>アフリカ子どもの本プロジェクト

<http://www.hananotane.com/>

「エンザロ村のかまど」(福音館書店)というノンフィクション絵本の出版をきっかけに、「エンザロ・ドリームライブラリー」がオープン、その図書館づくりに携わった人々が設立し、三つの目的のもとで活動しています。

目的

- 1)アフリカに設立したドリーム・ライブラリーを継続的に支える。
- 2)識字や楽しみのための本を必要としているアフリカの子どもたちがいれば、そこに本を届ける。
- 3)日本の子どもたちに、アフリカの文化やアフリカの子どもたちのことを伝える。

発起人(五十音順)

さくまゆみこ(現在の代表・翻訳者)、沢田としき(画家・2010年死去)、広松由希子(絵本研究者・学芸員)、
福本友美子(児童図書研究者・司書)、母袋秀典(イラストレーター)

<プロジェクトメンバーによる講演会のご案内> 詳しくは講演会案内チラシをご覧ください。

と き：12月5日(日)

ところ：山口市秋穂地域交流センター

講演会(大人向け) 10時30分～12時

おはなし会(小学生向け) 13時30分～14時15分

演 題：子どもと本の出会い -アフリカでの図書館づくりなど-

講 師：広松由希子さん(絵本研究者・元ちひろ美術館学芸員)

定 員：それぞれ70名程度(要申し込み。当日座席に余裕がある場合は当日参加可能)

申込先：TELまたはFAXで 083-984-2767(安光)、083-984-2354(原田)

絵本のソムリエ、広松由希子さんが語る

子どもと 本の出会い

～アフリカでの図書館づくりなど～



◆とき：平成22年12月5日(日)10:30～12:00

オフショーンイベント

◆13:30～14:15 広松由希子さんによる 絵本の読み聞かせ(小学生向)

◆15:00～16:00 講師との交流会(事前申し込みが必要)

◆ところ：山口市秋穂地域交流センター

◆定員：70名程度

交流会は30名程度

※11月4日から受け付けます。

(当日余裕がある時は当日参加可能)

◆参加費：無料

◆申し込み&お問い合わせ

TEL/FAX 083-984-2767(安光)

083-984-2354(原田)

TEL 083-984-0065(秋穂図書館)まで

◆氏名・連絡先・参加区分をお申し込みください。

主催：山口県／おはなし玉手箱（山口市秋穂）

共催：秋穂図書館／図書館と友だちの会・秋穂

後援：秋穂地域交流センター

たのSEA 秋穂づくり協議会

ぶどうの木-山口市子どもと読書ネットワーク

＜広松由希子さんプロフィール＞

編集者、赤ちゃん文庫主宰、ちひろ美術館学芸部長を経て、2000年よりフリーに。絵本の評論、創作、展示企画、講座などを展開。「読売新聞」「MOE」などで絵本評論を10年間連載。2010年度ポローニャ国際絵本原画展など、国内外の絵本コンペの審査員も務める。著書に、ブックリスト「ちひろ美術館が選んだ親子で楽しむ絵本100冊」（共著）、画集「茂田井武美術館 記憶ノカケラ」（編・著）、絵本に「おかえりたまご」「おめでとう」「いまむかしえほん」シリーズ（全12冊 刊行中）「かあさんあひるのたび（翻訳）」など。アフリカ子どもの本プロジェクト発起人・会員

<http://poche.with.mepage.jp>

同時開催 <会期 12月3日(金)～5日(日)>

『アフリカを読む、知る、楽しむ 子どもの本』展

会場：秋穂地域交流センター大会議室ほか